



読字 原田 観

No. 748

2014/11/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
西神田1-1-8(72ビル)

日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3016
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4 (宮地方)
TEL/FAX:086(445)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



高粱・総社地区に

新たな支部をつくらう！

日中岡山支部の会員及び新聞読者は、ここ数年少しづつ減少している。この現状を打開し、大きく仲間をふやしていくためには、長年の課題である「新たな支部づくり」に本気で取り組む必要がある。

毎年の活動方針で、組織を大きくするためには、倉敷支部と連携して、高粱・総社地区及び井原・笠岡地区に新たな支部をつくる働きかけをしよう。」と決定している。

先日倉敷支部の栗本理事長・宮地事務局長と岡山支部の小林事務局長が、高粱地区の石部さんを交えて話し合い、次の日程で準備会結成について相談することを決めました。

一、日時

11月20日(木)

15時30分～17時

二、場所

高粱コミュニティ

センター

安倍内閣のもとで日本の過去の侵略戦争を肯定・美化する動きが強まる現状で、日中不戦の旗を高く掲げる日中友好協会の役割は、増々重要になっている。そのためにも協会を強く、大きくする必要

がある。関係方面の会員・新聞読者のみなさん、急な御案内で申

TEL 086-277-2470
携帯 09082402001

今こそ出番の時

「憲法九条を守れ」の声を！

10月8日・9日、全日本退職教職員連絡協議会(全退職)の中国・九州ブロック学習交流会が、岡山市の「ピュアリティーまきび」で開かれ38人が参加しました。

初日は、全退教と各県退教の報告及び「ハンセン病の差別と人権」の講演がありました。

し訳ありませんが、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

なお、この件に関するお問い合わせは、日中岡山支部の小林事務局長に連絡してください。

TEL 086-277-2470
携帯 09082402001

2日目は、国立長島愛生園を見学し「ハンセン病の歴史」についてくわしく学習しました。

全退教報告では、次の2点が強調されました。

一、教え子を再び戦場に送らないため力をあわせ 憲法9条と子ども・青年の命を守る 退職教職員一万人アピール」



集会アピール

今こそ出番の時「憲法九条を守れ」の声を

安倍内閣は2014年7月1日、集団的自衛権の行使を認めるため、憲法解釈を変更することを「閣議決定」しました。

この決定は、歴代内閣が曲がりなりにもこれまで守ってきた 集団的自衛権は。憲法の容認する自衛権の範囲をこえるもので認めない」との立場を変更するもので断じて認められません。この変更は自衛隊が海外での戦争に参加する道を開く非常に危険なものです。

私たちは、憲法九条を破壊するこの「閣議決定」の撤回を求めます。

7月1日は、自衛隊創設から60年になる日でした。この日は、高校現場では求人票の受け付けが始まる日で、さっそく自衛隊からの求人票が届きました。これを手にした教師は「戦前の赤紙を受け取ったようでぞっとした」と話しています。

また、「これって召集令状?」7月上旬、ネット上にそんな書き込みがあられました。きっかけは、自衛隊が高校

三年生の自宅に送った自衛官募集のダイレクトメールだ(朝日新聞8月13日付)。閣議決定」の直後だけに敏感に反応し、徴兵制を連想したのも思われます。

私たちは。現職時代に教え子を再び戦場に送るな」の誓いのもと、憲法(改定前)教育基本法にもとづいて平和教育にとりくんできました。

退職後は「地域9条の会」及び戦争体験の継承などの諸行動に取り組んでいます。私たちの人生は憲法と共に歩んでいるといっても過言ではありません。

閣議決定されたのだからもうどうしようもない」ということはありません。決定」を実行するには。関連する法改正が必要です。闘いはこれからです。戦後70年を前にして今こそ全退教の出番です。現職教職員をはじめ。多くの国民と手を携えて。勇気を持って「憲法を守れ」の声をあげていきます。

2014年10月8日
全退教第22回中国・九州ブロック学習交流会

吉備真備の足跡から日中友好を考える

盛会だった第14回文化講演会



日中友好協会倉敷支部の第14回中国問題文化講演会が10月11日、くらしき健康福祉プラザで開かれました。

講師は「実像・吉備真備」の著者・真備町の小野克正氏。参加者は会場いっぱい60人でした。

講師の小野克正氏から1300年前に遣唐使として、日中交流の花を開かせた吉備真備の実像に触れた話を聞いて、参加者は深い感銘を受けました。

小野講師は、1300年前の日本と中国の間には様々な困

難があったが、留学生たちの知識、学問への真剣な取り組み、唐の寛大な協力が日中交流の花を開かせた。相互の信頼と尊敬、平和共存、互恵が交流の土台だったこと。とても分かりやすく話されました。

またこの講演会に先立ち栗本泰治理事長は、開会のあいさつの中で「21世紀は、平和と対話の時代なのに隣国との首脳会談さえ開けないのは異常。安倍総理は歴史認識を改めて、隣国との関係正常化を」と訴えました。



体験発表をする今岡愛子さん

今回の新聞発送作業は11月11日(火)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林 和
竹内 袈
坪井 三垣

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか? 91

竹内和夫



教科書をつくろう (10)

B: つづき、わたしの「辞典」でワのところじゃなくて、ハのところをみると、C君読んで。

Ima wa yamanaka, ima wa hama,
Ima wa tekkyoo wataru zo to
Omou ma mo naku, tonneru no
Yami o tootte hironohara,

C: 『三省堂、小学国語辞典』541ページ:

は(ワと発音する)ある物ごとを、ほかと区別して取り出しているときに使う。
例:きのうは雨でした。

381ページ:

ぞ(文の下につけて)あることを強く言うときに使う。
例:急がないと、おくれるぞ。そこへ行くと、あぶないぞ。

474ページ:との説明が①から⑤まで書いてあって、例もいろいろ出しています。「渡るぞと」のとは、①～⑤のうち、どれにあてはまるか、いっしょに考えてみよう。意見を出しあおう。

こうして詩のなかのものととをも、しらべてみよう。
も 702ページ、の 534ページ、を 780ページをしらべよう。あわてずに、たのしく、たっぷり時間をかけよう。新しい発見がある!

つづく

日本語教室開講10周年を振り返って その1

11月16日(日)高島公民館で中国帰国者の日本語教室10周年の集いが開かれます。着々と準備はすすんでいます。今回は、1周年から5周年までのあゆみを一覧表で紹介します。この表を見ながら、これまでのあゆみを振り返っていただければと思います。

	開講年月	開催場所	参加人数	司会・通訳	内容	その他
1周年	2005年10月30日	長岡中央集会所	約60人	小林 何 暁麗	今岡愛子さん・益田桜子さんの体験発表	岡山原告団結成2周年記念集会と同時開催(自己紹介・クイズなど)
2周年	2006年11月25日	長岡中央集会所	約40人	小林 何 暁麗	須田講師の「なぞなぞ」などを楽しむ	岡山原告団結成3周年記念集会と同時開催(北国の春・四季の歌)
3周年	2007年11月25日	長岡中央集会所	約30人	小林	倉敷教室の手品・総社教室の自己紹介	会のおわりに受講生の餃子・講師のおでん・おにぎりで食事
4周年	2008年10月19日	福祉交流プラザ さいでん	約50人	小林 何 暁麗	横山淑子さん・山根佳恵さんなどの体験発表	日中岡山支部の太極拳でオープニング 歌と踊りで交流、若い受講生の増大
5周年	2009年11月21日	高島公民館	約45人	小林 赤城 馬小菲 黄 艶萍	総社教室(高見・赤澤・富岡)の体験発表	留学生が中国の歌、二胡とハーモニカの演奏